

令和3年9月17日
September 17, 2021

大学院学生各位

To All Graduate Students

令和3年度

基盤医学特論 開講通知

Information on Special Lecture Tokuron 2021.4-2022.3

Title: 【Teams開催】ストレスの生物学的基盤：炎症による
神経回路リモデリング

Teaching Staff: 古屋敷智之 教授 神戸大学医学研究科薬理学

Time and Date: 令和3年10月15日 金曜日
Oct 15 (Fri) 2021, 16:30-18:00

Language: 日本語 (Japanese)

Registration: Teamsは事前登録制です。10/13までに下記URLまたはQRコードからアクセスして事前登録をして下さい。事前登録に使用するメールアドレスは大学より付与されるメールアドレスのみ認めます。(gmailやhotmailは認めません。)講義当日は、事前登録で登録したメールアドレスへ送られたミーティングID・パスワードから参加して下さい。講義中の録画・録音は禁止します。

Registration: Please register in advance by 10/13. The URL or QR to register is shown below. We only accept Nagoya University e-mail address for registration. Student can't use Gmail, hotmail, etc. On the day of the lecture, please join using the meeting ID and password sent to the email address you registered. Recording this lecture is not allowed.

<https://forms.gle/wnQHSS1eDRT3QvVs5>



Abstract

ストレスとは外的・内的環境の変化による心身の機能の歪みであり、うつ病など多様な疾患のリスクを高めるが、その作用には不明な点が多い。我々はマウスの社会ストレスモデルを用い、短期的なストレスが内側前頭前皮質のドーパミン系を介してストレス抵抗性(レジリエンス)を誘導すること、長期的なストレスがミクログリアを起点とした脳内炎症を惹起し、うつ様行動を誘導することを示してきた。さらに、慢性ストレスは骨髄から白血球を動員して情動変化を促すことも見出している。これら一連の発見は、ストレス応答が適応的反応から適応不全に至る過程に、脳内と全身性の炎症反応による神経回路リモデリングが重要であることを示唆している。本講演ではストレスによる炎症を引き金とした脳組織リモデリングに関する最新の知見を紹介する。

関係講座の連絡先： 澤田誠、環境医学研究所 脳機能分野〔薬物動態解析学〕
(内線 東山5001)

Contact: Makoto Sawada, Dept Brain Function, Research Institute of Environmental Medicine. (Ext: 5001)

医学部学務課大学院係 Student Affairs Division, School of Medicine